

地域密着型金融の取組み

2023年度の活動報告

01 お取引先企業のライフステージに応じた コンサルティング機能の発揮



1 ESG地域金融の実践

当金庫では、地域のESG(環境・社会・ガバナンス)に関する社会課題の解決に繋がる事業の発掘や支援を通して、「持続可能な社会の実現」を目指しています。具体的には、SDGs宣言支援や脱炭素経営に繋がるCO₂排出量の見える化やSBT認定取得支援に留まらず、お取引先企業の事業活動の社会的なインパクトを見極め、サステナブル・ファイナンスや寄付型私募債等による「社会貢献を伴う資金支援」に積極的に取り組んでいます。

特に、「ぎふしんポジティブ・インパクト・ファイナンス」(企業の社会的に良い影響を与える取組みや、社会課題の緩和に繋がる取組みを格付会社からの第三者評価を得た上で資金支援を行うご融資商品)は、2023年度にて52社の企業にご利用いただきました。また、自ら高いCO₂排出量の削減目標を掲げて取組む企業向けの資金支援である「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン」は、2023年度にて6社の企業にご利用いただきました。今後も、当金庫は「社会課題の解決に挑む企業の支援」に取り組んでまいります。

2 経営相談・成長分野進出支援の取組み

当金庫とお取引先企業との長期的なリレーションを通じて蓄積された情報を活用し、外部専門家、外部機関等と連携することで、幅広い分野のご相談やライフステージに応じた適切なソリューションを提案しています。また、新分野展開、事業転換、又は事業再編といったお取引先企業の事業再構築支援への取組みの結果、事業再構築補助金の当金庫採択数は、第1回から第11回の公募で岐阜県下認定支援機関の中で最多の375件となりました。

経営相談への取組状況 (専門的なコンサルティング サービスを受付した件数)

[件]			
創業	140	ビジネス マッチング	734
事業承継・ M&A	815	DX化	156
補助金	296	海外展開	403
脱炭素化	90	不動産関連	414
SDGs	433	その他	823
人材関連	150		

事業再構築補助金 第1回から第11回 当金庫支援先の採択数

[件]	
第1回	29
第2回	45
第3回	22
第4回	37
第5回	63
第6回	47
第7回	36
第8回	42
第9回	18
第10回	23
第11回	13
合 計	375

■ 共通ベンチマーク3 「金融機関が関与した創業、第二創業の件数」

ベンチマーク(指標)	実績
創業融資	236件

■ 共通ベンチマーク4 「ライフステージ別の与信先数(企業・事業者単位ベース)、及び融資額」

ベンチマーク(指標)	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	16,252先	1,950先	1,581先	9,911先	875先	1,042先
融資額	9,053億円	696億円	1,074億円	5,957億円	360億円	619億円

※「金融仲介機能のベンチマーク」は、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として、2016年に金融庁により公表されました。

3 海外業務サポート

▶「海外ビジネス支援パッケージ」による連携を開始

当金庫は2023年5月、海外進出・展開等に取り組むお取引先企業への支援をより一層強化するため、株式会社日本政策金融公庫岐阜支店、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社日本貿易保険の3機関と「海外ビジネス支援パッケージ」による連携を開始いたしました。

本スキームは、海外販路開拓・拡大等を図るうえでの課題やニーズを当金庫を含めた4機関で共有し、各機関の特長を活かした適切な支援をご提供するもので、東海地区の信用金庫では初めての連携となりました。

▶海外個別相談会を開催

当金庫は2023年6月、10月、2024年2月の3回に亘り、多様化する海外ビジネスニーズに対応するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の専門家をお招きし、「海外個別相談会」を開催いたしました。

本相談会は、コロナ禍以降、海外への渡航が活発化するなか、販路開拓や生産委託、現地法人設立等を検討するお取引先企業の海外支援を目的に実施したものです。当日は、海外支援の専門家と直接面談の形式で相談ができたことから、非常に有意義な相談会となりました。

当金庫では、海外進出・展開等に関する相談件数が増加傾向にあることから、今後、対象国を広げ、開催回数を増やしていくことで、お取引先企業の海外ビジネスニーズに柔軟に対応してまいります。

▶当金庫の海外拠点および海外業務提携先

バンコク駐在員事務所

バンコク駐在員事務所では、タイに進出中、もしくは進出を検討されているお取引先企業に対し、市場動向や投資環境等の現地情報を提供しております。また、ビジネスマッチングの活用により、現地での事業展開をサポートするとともに、お取引先企業の海外販路開拓等多様化する海外ビジネスニーズに対応しております。

外国政府機関や外国銀行との業務提携

当金庫では、お取引先企業において海外展開の対象とする国が広がりを見せるとともに、輸出入や販路開拓等海外ビジネスニーズが多様化していることを受けて、海外現地でのサポート体制を拡充しております。現在、ベトナムやインド、インドネシア等の外国銀行と業務提携を結んでいるほか、ダナン市投資促進支援委員会（ベトナム）やラオス計画投資省といった政府機関とも業務提携を結んでおり、海外からの企業誘致・投資促進などで政府レベルでの支援が提供できる環境整備にも取り組んでおります。

今後も、外国政府機関や外国銀行との業務提携を検討していくことで、お取引先企業の海外進出・展開等をサポートするための環境整備を一層進めてまいります。



4 事業承継への取り組み

▶地域の事業や雇用を守るために

経営者にとって、後継者への事業の円滑な承継は大きな経営課題です。また、地域社会にとっても、「企業の円滑な事業承継」は、地域の事業と雇用を維持させるために必要です。

当金庫では、事業承継に関する相談やご支援を10年以上続けており、提携税理士法人を通じたタックスプランニングや後継者育成、従業員承継(MBO)に留まらず、第三者への承継(M&A)も含めて積極的なご支援に取り組んでいます。近年では、事業をファンドが承継する場合もあり、LBO(レバレッジド・バイアウト)といった金融手法が求められることも増えてきておりますが、積極的に対応しており、幅広いお取引先企業のご要望にお応えしています。

5 事業再生支援への取組み

当金庫ではお取引先企業ごとの経営課題を理解した上で、最適なソリューションを提案し、その実行支援を通じて課題解決に資する事業再生支援の取組みを行っています。

▶ 事業譲渡提案により、事業再生支援を行った事例

医療法人Aは、理事長が高齢のため診療科目を縮小して以降、売上高は大幅な減少となり、事業継続の大きな課題となっておりました。また、後継者不在から事業承継問題も抱えておりました。

当金庫は、資金繰り支援のみでは事業継続が厳しく、事業譲渡を踏まえた本業支援が必要であると判断し、M&A仲介企業を紹介し事業譲渡の提案を続けてきました。

その状況において、当金庫取引先で内科クリニックを営む個人事業主Bから、更なる事業拡大に向け、医療法人成りを検討しているとの相談を受けました。そこで、当金庫はM&A仲介企業と協働した結果、条件面での合意が得られ、医療法人Aは個人事業主Bへ事業譲渡することになりました。

その取組みにより、医療法人Aは事業承継問題を解消し、事業再生に繋がりました。また、個人事業主Bは医療法人を足掛かりに診療科目の拡大を果たすことができました。

これからも当金庫はお取引先企業と課題を共有し、課題解決に向けた取組みを実施してまいります。

■ **共通ベンチマーク1** 「金融機関がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数(企業・事業者グループベース)及び同先に対する融資額」

ベンチマーク(指標)	実績
メイン先数	8,886先
与信先数	14,542先
(全与信先に占める割合)	61.1%
メイン先の融資額	6,090億円
経営指標等が改善した先数	7,125先

■ **共通ベンチマーク2** 「金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況(企業・事業者単位ベース)」

ベンチマーク(指標)	条件変更先	好調先	順調先	不調先
経営改善計画の進捗状況	1,377先	208先	578先	591先

※売上または償却前経常利益計画の達成率で分類(好調先:120%超、順調先:80~120%、不調先:80%未満)

6 経営者保証に関するガイドラインへの取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お取引先企業からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お取引先企業との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2023年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は4,362件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は30.53%、保証契約を解除した件数は426件です。

「保証債務整理」については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出は2件でした。

■ **共通ベンチマーク5** 「金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び全与信先数及び融資額に占める割合(企業・事業者単位ベース)」

ベンチマーク(指標)	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	3,767先	2,764億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	23.2%	30.5%

02

地域経済活性化への貢献と地方創生の実現



1 地方創生と持続可能な社会の実現

▶「ぎふしんSLL」にてNIKKEI脱炭素アワード2023受賞

当金庫とe-dash株式会社が共同で実施する「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン(ぎふしんSLL)」を中心とした中小企業向け脱炭素化支援が、日本経済新聞社主催「NIKKEI 脱炭素アワード2023」プロジェクト部門において大賞を受賞いたしました。

写真は右から、山崎冬馬氏(e-dash 株式会社代表取締役社長)
高村ゆかり氏(東京大学未来ビジョン研究センター教授)、好岡政宏(当金庫理事長)



▶「ぎふしんSDGs私募債」子育て支援型の取組み

2023年6月に「ぎふしんSDGs私募債」の子育て支援型の趣旨に賛同いただいた企業さまの私募債発行額の0.1%相当額を、岐阜市内中学校の「不登校児童生徒のための校内フリースペース整備事業」に対して学校備品を寄贈いたしました。

当金庫はSDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会実現のため、これからも地方創生と持続可能な社会の実現に向けて取組んでまいります。

▶金融リテラシー教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」の取組み

2023年2月より教育プログラム「ぎふしんマネーエデュ」をスタートし、当金庫職員や外部講師により学校や職場、地域のイベント会場にて通算140回以上開催いたしました。

『貯蓄から投資へ』のシフトを進めていく中で、幅広い世代に資産形成に関する知識を身に付けていただくため、当金庫は引き続き地域の金融リテラシーの向上に努めてまいります。



▶第46回 お取引先社員研修会の取組み

当金庫は例年4月にお取引先企業の新入社員等を対象として、お取引先社員研修会を開催しています。2024年4月に開催したお取引先社員研修会では約300名の社員の方々が参加され、社会人として必要とされるビジネスマナーを身に付けられました。

研修後には当金庫職員による「ライフプランと資産形成」と題して、マネーエデュ(金融教育)を実施いたしました。

▶ぎふしん金融教育 岐阜聖徳学園大学キャリアデザイン講座

岐阜聖徳学園大学との産学連携協定に基づき、経済情報学部「キャリアデザインII」に参加しました。本授業は、「考え抜く力」「チームで働く力」の醸成を目的としています。当講座に賛同をいただいた地元企業から、リアルな事業課題とその解決策をミッションとして提示いただき、学生たちがその課題に対して解決策と、新規事業を検討し、学期末にプレゼン発表しました。授業の最後には、学生の提案に対し、講師である地元企業の方々から講評をいただき、アドバイスや就活に向けてのエールを送りました。





▶ 当金庫創立100周年記念絵画展の開催

2024年3月26日(火)～4月14日(日)の日程にて岐阜県美術館において、当金庫が所蔵する700点超の絵画の中から厳選した67点を展示する『創立100周年記念 岐阜信用金庫 秘蔵名作選』を開催しました。開催期間中、5,400名を上回る方々にご来場いただきました。

2 むふしん 青年重役会の活動

▶ しんさんの日合同講演会の開催

当金庫は、例年6月15日の「信用金庫の日」に合わせて、ぎふしん青年重役会と共催による「しんさんの日合同講演会」を開催しております。2023年度の講演会は、講師にジャーナリスト・名城大学教授・東京工業大学特命教授・東京大学客員教授の池上彰氏を迎え、「ニュースから世界を見る」と題して、目まぐるしい世界情勢をどう見るかを解説していただきました。



▶ むふしん 青年重役会 発会式・講演会の開催

ぎふしん青年重役会岐阜支部第41期発会式及び愛知・東濃支部第31期発会式を4年ぶりに開催しました。岐阜支部の発会式では、医師・ジャーナリスト森田豊氏、愛知・東濃支部の発会式では有限会社スギや及び株式会社EBILABの代表取締役小田島春樹氏をそれぞれ講師に招いて講演会を行いました。また講演会後には交流会も実施し、商談や情報交換等により大いに親交を深めました。

3 地域経済の面的再生への関与

▶ 「第8回 売り込みビジネス商談会」の開催

当金庫は岐阜商工会議所と共催し、11月に岐阜県下6信金・県下の全商工会議所・岐阜県信用保証協会・岐阜市信用保証協会と連携してオール岐阜体制のもと、「第8回 売り込みビジネス商談会」を開催しました。

サプライヤー企業とバイヤー企業との個別商談方式にて、94件の商談が行われ、約7割が今後につながる商談となりました。



▶ ストリートピアノコンテストの開催

当金庫は、2023年4月に岐阜柳ヶ瀬グラッスル35の完成を記念して、グランドピアノを寄贈し、11月にそのピアノを使用して岐阜市柳ヶ瀬地区各機関との共催によるストリートピアノコンテストを開催しました。

全国から多くの方々にご参加いただき、岐阜柳ヶ瀬地区が、美しいピアノの音色で彩られ、賑わい創出につながりました。

4 地域のお客さまとのイベント活動 ― 幸せの共感で繋がる好循環サイクルの実現 ―



石川佳純 47都道府県サックスツアーin岐阜

卓球の元日本代表として活躍された石川佳純さんをお招きし、小学生を対象とした卓球教室を2024年3月に開催いたしました。当日は観覧のお客さまを含めて約1,300名をご招待し、当金庫卓球部も参加して地域のお客さまとの絆を深めました。



第3回 むふしん杯こども将棋岐王戦

岐阜を舞台に子供たちが将棋の腕前を競い合う「第3回 むふしん杯こども将棋『岐王戦』」を、プロ棋士の高田明浩五段(岐阜県各務原市出身)をスペシャルゲストに迎えて開催しました。岐阜県内を中心に全国から集まった子どもたち約70名が『岐王戦』タイトルに向けて、熱戦を繰り広げました。



第29回 むふしんウィメンズラン

岐阜市の中心街を走り抜ける「むふしんウィメンズラン」を開催しました。女性限定の本大会は、小学生も走ることができるコミュニティマラソンであり、エントリーした756名のランナーがさわやかな汗を流しました。



岐阜信用金庫 中日ドラゴンズ少年野球教室開催

中日ドラゴンズ打撃コーチの和田一浩氏を迎え、「岐阜信用金庫 中日ドラゴンズ少年野球教室」を開催しました。少年野球チーム20団体・212名が参加し、熱心なアドバイスに耳を傾け指導を受けていました。



第51回 道三まつり

2023年4月に4年ぶりに開催された「道三まつり」に役職員総勢230人が、参加いたしました。総重量約1トンの本みこしと華やかな美濃和紙で彩られた花みこしが祭りを盛り上げました。



むふしん収集ボランティア活動

1997年4月より「収集ボランティア活動」を毎年実施しています。今年度も、収集した使用済み切手・ペルマーク・書き損じはがき等を社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会に寄贈いたしました。当金庫は、今後も地域社会の一員として、「豊かな家庭生活実現のお手伝い」に向けた取組みを継続してまいります。



第26回 むふしんクリーン作戦

2023年6月、岐阜県・愛知県の観光地や文化施設等63カ所において、当金庫・関連会社の役員およびその家族、ボランティア団体、その他一般の方々1,200名以上の皆さまにご参加いただき、清掃活動を実施しました。

5 公益財団法人ぎふしん記念財団の活動 —豊かな町、美しい町、住みよい町を創造するために—

活動目的 地域社会の活性化を図るため、公共的な活動及び助成をととし、広く地域社会の健全な発展のために寄与することを目的とする。

▶ 加藤栄三・東一記念美術館の収蔵素描画の修復助成事業

公益財団法人ぎふしん記念財団は、岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館の収蔵作品の修復事業に対し、2018年より毎年100万円の助成を行い、市民の財産として広く公開する事業に継続的に取組んできました。修復点数は、創立100周年にちなみ、2023年度で100点に達しました。2024年4月には、これまで修復した100点の中から主だった作品のみでなく、28年ぶりに東京の国立劇場から里帰りの加藤栄三画伯の「雷神」と加藤東一画伯の「風神」の本画を並べて展示する岐阜市主催の企画展が開催されました。



▶ 第46回 ぎふ健康ウォーク

岐阜市民の健康増進を通じて安心して暮らしやすい地域社会を実現するため、金華山・岐阜公園一帯を会場としたウォーキング大会イベントです。11月に行われたウォーキングには約700名が参加しました。



▶ 令和5年度 岐阜市芸術文化奨励賞への助成

公益財団法人ぎふしん記念財団は、地域住民の福祉の向上、地域の文化・芸術の振興を目的とした事業への助成を行っています。岐阜市における芸術文化の裾野拡大に寄与するため、令和5年度も岐阜市芸術文化奨励賞に副賞の助成を行いました。

03 地域やお取引先企業に対する積極的な情報発信



当金庫の地域密着型金融に関する各種取り組みや実績を公表しています。

また、情報誌「ミニトーク」により経営に役立つ情報提供を行っております。



ミニトーク No.59



ミニトーク No.61



ミニトーク No.63



ミニトーク No.64



ミニトーク No.65

2024年度 地域密着型金融の取組方針

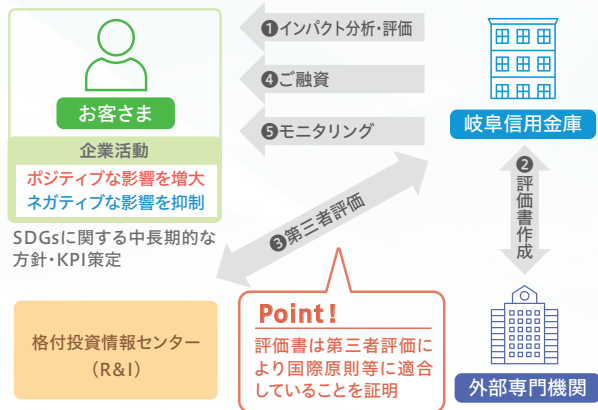
- 1 お取引先企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
- 2 地域経済活性化への貢献と地方創生の実現
- 3 地域やお取引先企業に対する積極的な情報発信

新商品・サービス

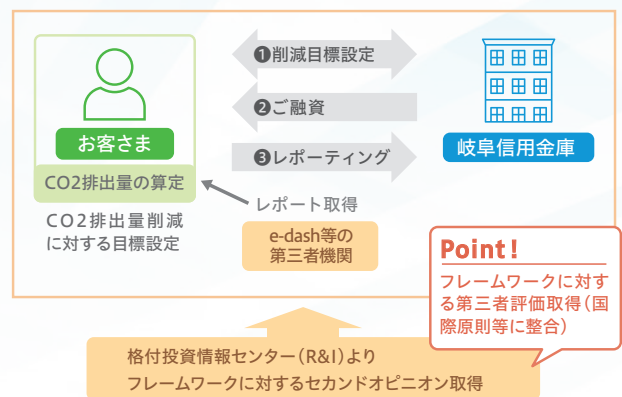
▶ むふしん ポジティブ・インパクト・ファイナンス、 むふしん サステナビリティ・リンク・ローン

持続可能な社会の実現に向けて地域のお客さまと共に貢献していくために、SDGs経営支援として「ぎふしん ポジティブ・インパクト・ファイナンス」、脱炭素経営支援として「ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローン」の取り扱いを開始しました。

■ ゐふしん ポジティブ・インパクト・ファイナンス

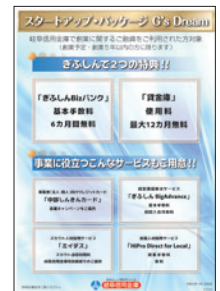


■ ゐふしん サステナビリティ・リンク・ローン



▶ スタートアップ・パッケージ G's Dream

政府が、日本にスタートアップを産み育てるエコシステムを創出するため、「スタートアップ育成5か年計画」を策定する等、スタートアップ支援が注目されています。当金庫においても、従来から積極的な創業支援を展開しておりますが、取組みを更に加速させるため、標題のパッケージについて取扱いを開始いたしました。本パッケージは、事業者向け商品・サービスを一元的に案内できる内容となっており、創業予定および創業後間もない事業者にご活用いただいております。



スタートアップ・パッケージ G's Dreamチラシ

▶ キャッシュレス決済・ことら送金

PayPay等スマートフォンを利用した各種キャッシュレス決済サービスへのチャージ入金等に、当金庫の普通預金口座をご利用いただけます。また、BankPayアプリを利用すると、小口個人間送金サービス「ことら送金」も送金手数料無料でご利用いただけます。

▶ G's Dream 定期預金

「地域の皆さまへの感謝と恩返し」、創立100周年を記念して、特別金利定期預金を取扱いました。多くのお客さまにご利用いただきありがとうございます。



G's Dream 定期預金 チラシ

▶ オリジナルマスコット

新たな100年に向けて、このたび岐阜信用金庫にオリジナルマスコット「夢かなえ隊 G's カルテット」の4体が誕生いたしました。4体のオリジナルマスコットは「地域の皆さまの夢を創り叶える」という当金庫の思いを具現化するため、様々なシチュエーションで登場してまいります。当金庫のイメージキャラクターである「ムーミン」と共に、ご愛顧いただきますようお願いいたします。



夢かなえ隊 G's カルテット